

科目名	芸術 II (美術) Art II (Fine Arts)			担当教員	永井 崇幸		
学年	2年	学期	前期	履修条件	必修	単位数	1
分野	一般	授業形式	実技	科目番号	16220026	単位区分	履修
学習目標	構想画, デザイン画, あらゆる表現方法による絵画表現を通して, 個々の創造力を伸ばし, 豊かな感性と心情を養う。イメージを膨らませて, 自主的に創造する価値と喜びを感じさせる。						
進め方	絵画表現を通して, 独自のイメージを膨らませ, 自己の表現を追求させる。						
学習内容	学習項目 (時間数)			学習到達目標			
	1. 構想画 - 未来都市を描く (10) 着彩			<ul style="list-style-type: none"> ・テーマに沿ったイメージは, どのようにして引き出すことができるかを考える。 ・CGの発達により, 意識のないままに仮想現実 (バーチャルリアリティ) があふれていることを認識する。それらのイメージを再構成して, 独自のイメージとして表現することができる。 ・幾つかの制作条件のもとで, 未来の都市空間を豊かなイメージを膨らませて表現することができる。 ・直線・曲線を使い分けて建造物と都市空間を表現することができる。 <p style="text-align: right;">E6:1 B2:1</p>			
	2. デザインと描写 はめ絵「理想の世界」 - 定められた空間の構成 (10) 着彩			<ul style="list-style-type: none"> ・自分でデザインする外形を決定する。 ・指定された条件下で定型の形を生かして表現することができる。 ・デザイン的な色面構成の中に精密な描写をすることができる。 ・制作に必要な資料を準備し, テーマに沿った表現ができる。 <p style="text-align: right;">E6:1 B2:1</p>			
	3. 自由制作 (10) 着彩 前期末実技評価 (1)			<ul style="list-style-type: none"> ・自分の制作に必要な参考の資料を準備する。 ・あらゆる絵画表現手段を用いて作品制作する。 ・自分の定めたテーマを感性豊かに表現することができる。 <p style="text-align: right;">E6:1 B2:1</p>			
評価方法	自己のイメージをどのように豊かに表現出来ているか。 学習内容の全実技作品を時間数の割合で点数化して評価 (90%) (作品が授業時数に相応しい内容で完成。60%), 制作態度(10%)を考慮して総合的に評価する。						
履修要件	美術 I を履修している。						
関連科目	芸術 I (美術) (1年) → 芸術 II (美術) (2年)						
教材	1年時購入のスケッチブックと絵の具 (アクリルガッシュ) を使用。						
備考	自主的に美術館・ギャラリーなどの鑑賞を奨励。鑑賞レポートは随時受け付け, 評価に加える。 単位追認は, 未提出・未完成の作品を完成させて提出する。						